

# 平成30年度 事業報告書

社会福祉法人ユタカ福祉会

## ◎ 喜連西デイサービス（一般デイサービス・和みデイサービス）

平成30年度においては、スローガンで掲げた「柔軟な対応」を各職員が意識的に取り組む事ができた。特に利用時間に関しては利用者・家族の希望にも応えられるよう、午後からの利用や昼食後までの利用等も可能な限り対応した。これが大変好評となり、本人、家族だけでなく担当の居宅介護支援専門員からも高評価を得ることとなった。また、満足度の向上に繋がっただけでなく、他の居宅介護支援事業所との関りも深める事が出来るようになった。

当年度における一般デイの登録平均者数は95名、予防デイでは38名、和みデイでは18名となった。全体を通して入院や入所等の中止や長期的なキャンセルが多い年度となった。

新規利用者については、興味を示された方の問い合わせ及び他事業所からの紹介等で計83名、新規登録者はトータル66名となった。一般デイ・予防デイでは人数を維持する事ができたが、和みデイの利用者が相次いで入院や入所となり、新規登録者はあるも、目標登録者数である30名には達成しない結果となった。

行事においては、日々の日常生活をより豊かなものにするべく、リハビリを兼ねた外出援助では、花見やイチゴ狩り等に出向き、更により新鮮な刺激を求めて和歌山県に日帰り旅行を行うなど様々な行事を企画実行した。施設内行事でも季節に応じた行事を設け、その行事と共に季節の旬を味わってもらおうよう行事食に関しても力を入れる事で、どの行事に関しても大盛況であった。

クラブ活動では、機能訓練を兼ねた様々な運動クラブをはじめ順調に提供する事が出来た。また、定期的に提供内容を見直しており、今後も継続して新鮮味のあるクラブ活動の提供に努めている。リハビリについても好評で、施術を受けられている利用者が『少しずつ自宅での行動も広がってきた』と、喜ばれるようになった。

地域との関わりとしては、毎年開催している「ユタカ福祉会餅つき大会」等の行事を通じて地域住民との交流を図っており、また、地域自治会主催の盆踊り大会の参加や地域防災訓練への参加、近隣小学校の運動会の観覧、更には自治会婦人部会主催の「ふれあい喫茶」に必ず参加するなど、交流の機会を多く設けたことで密接に関りを持つことができた。またこれらにより、当施設の役割や周知がよりなされるようになった。

前年度から取り組んでいる大阪市のポイント事業についても、継続的に活用している。ボランティアからは、ハーモニカ演奏・オカリナ演奏や日本舞踊などの提供をうけ、利用者にとっても、楽しみの一部として機能する事が出来ている。

平成31年度では、一般デイ・和みデイをより多くの方々に知って頂けるように、また、和みデイの特色を活かしたPRを職員一丸となって取り組み、利用者、家族のニーズに応えながら最適なサービス提供が出来るよう努めていく。

・年間売上表

○前年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
一般デイ	6,540 (87)	7,573 (93)	7,499 (93)	7,752 (90)	7,892 (90)	7,726 (91)
和みデイ	2,954 (25)	2,652 (25)	2,537 (26)	3,078 (29)	3,042 (31)	3,170 (30)
予 防	960 (37)	960 (34)	1,085 (36)	998 (35)	1,030 (36)	1,012 (36)
合 計	10,454 (149)	11,185 (152)	11,121 (155)	11,828 (154)	11,964 (157)	11,908 (157)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般デイ	7,062 (88)	6,857 (87)	6,855 (87)	7,054 (87)	6,532 (88)	7,810 (96)
和みデイ	2,909 (31)	2,653 (26)	2,489 (24)	2,452 (24)	1,987 (23)	2,363 (23)
予 防	979 (38)	951 (35)	918 (33)	966 (35)	907 (34)	963 (34)
合 計	10,950 (157)	10,461 (148)	10,262 (144)	10,472 (146)	9,426 (145)	11,136 (153)

○平成30年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
一般デイ	7,103 (92)	7,633 (93)	7,706 (96)	7,321 (96)	7,223 (92)	6,158 (86)
和みデイ	2,019 (22)	2,303 (22)	2,243 (21)	2,265 (22)	1,981 (21)	1,432 (15)
予 防	1,021 (38)	983 (36)	978 (37)	957 (35)	1,048 (38)	981 (37)
合 計	10,143 (149)	10,919 (151)	10,927 (154)	10,543 (153)	10,252 (151)	8,571 (138)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般デイ	7,295 (88)	6,928 (94)	7,073 (96)	6,649 (94)	6,755 (96)	7,606 (100)
和みデイ	1,517 (16)	1,379 (15)	1,446 (16)	1,044 (16)	763 (14)	872 (15)
予 防	1,091 (39)	1,099 (39)	1,185 (41)	1,125 (39)	1,072 (37)	1,103 (37)
合 計	9,903 (143)	9,406 (148)	9,704 (153)	8,818 (149)	8,590 (147)	9,581 (152)

※単位：千円

※（ ）は利用者登録数

・喜連西デイサービス行事報告書

平成30年

4月17・18日	イチゴ狩り	担当：大西・安部・鈴木・加藤・玉崎
5月3～5日	菖蒲湯	担当：安部
5月22・23日	和歌山マリーナシティ&酒蔵見学へGO	担当：大西・安部・長富・鳥丸・上村 三谷・匹田
6月27日	コマ回し大会（クラブ活動）	担当：安部・続
7月5日	七夕祭り	担当：安部・長富・加藤・上村
8月22・23日	盆踊り大会	担当：鈴木・安部・鳥丸・三谷・玉崎

9月18・19日 敬老会 担当：山下・鈴木・西尾  
10月24日 運動会 担当：西尾・山下・西村・上村  
12月20～24日 柚子湯 担当：安部  
12月21・22日 餅つき大会&クリスマス会  
担当：安部・長富・鈴木・本川・加藤  
続・玉崎・匹田

#### 平成31年

1月9・11日 初詣 担当：長富・鈴木・西尾  
2月5・6日 新年会&節分パーティー  
担当：鈴木・安部・山下  
三谷・道中・村上  
3月5・6日 春の梅見ツアー 担当：山下・西尾・長富  
鳥丸・道中・上村

※ ボランティアによるハーモニカ演奏・オカリナ演奏・日本舞踊は毎月開催。また、和みデイサービスでは定期的に散策や公園、地域のお祭り等に足を運び、外出援助として対応。

#### ・平成30年度の年間スローガン

- ① 柔軟な対応に努め、安心して頂けるサービス提供
- ② 地域住民の「拠り所」として有り続けるデイサービス
- ③ 「目配り・気配り・心配り」と、徹底された情報共有

◎ 喜連西小規模多機能型居宅介護施設ゆたか

年度初めは、登録数13名でのスタートだったが、認知症デイサービスからの移行で2名、老人保健施設からの在宅復帰で1名の増加があり、年度末では16名となった。しかし、認知症状が進み、日常生活の自立度が低下し、在宅生活が困難な為、施設入所希望の方もいるような状態である。出来る限りながく在宅生活を継続できるよう、利用者本人、家族、主治医と連携を取りながら、通い日数や時間、訪問回数、泊り回数の増加を検討し実施している。

通いサービスでは、余暇活動として、おやつ作りを行い、男性、女性を問わず、皆さま参加され、調理を楽しまれている。また、四季折々の壁紙作りや毎月のカレンダー作りは好評で楽しみにされている。外出援助では、近隣の公園やスーパー、近場の名所を巡り、皆様楽しみにされ喜ばれている。さらに地域の交流の場として、ふれあい喫茶や認知症カフェ、写真展等へ参加している。

運営推進会議は、昨年同様、隔月で実施し、家族、地域住民、包括職員、看護師等の意見や助言、要望など伺い、良い意見交換の場となっている。

平成30年度の売上は4,224万円となり、昨年度と比較して300万円の増額となった。また、日々の営業活動やホームページを通して、他事業所や家族の方より、新規の問い合わせは増加している。しかしながら、遠方などの理由により断らざるを得ないケースも多い。さらに当事業所においては、他の同施設に比べ面積的理由等から様々な制約を受けるため、登録人数を多く増やすことはサービス悪化に直結してしまう。平成31年度もこのジレンマを抱えながらも、個々の多様化するニーズにできるだけ対応することができるよう心掛け、利用者様の状況を十分考慮した上で、利用登録者増加を目指していく。

○年間売上表

・前年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
収入	2,928 (13)	3,498 (15)	4,006 (15)	3,653 (15)	3,637 (15)	3,363 (14)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収入	3,184 (14)	2,980 (13)	2,837 (12)	3,055 (13)	3,037 (14)	3,060 (13)

・平成30年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
収入	3,058 (13)	3,076 (13)	3,090 (13)	3,562 (15)	3,610 (15)	3,594 (15)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収入	3,605 (15)	3,604 (15)	3,653 (15)	3,722 (15)	3,702 (15)	3,962 (16)

※単位：千円

※（ ）は利用者登録数

・平成30年度の年間スローガン、行事報告

平成30年度の年間スローガン、行事報告に関しては、喜連西デイサービス・認知症対応型喜連西デイサービスを参照。

## ◎喜連西ケアプランセンター

平成30年度の年間利用者延人数は、昨年度に比べ減少となっている。体調不良にて入院し、退院後もご自宅での生活を希望されるが、在宅生活の継続が困難との判断で施設入居を余技なくされた方や、体調が改善せず他界された方が多数あった事、要介護から要支援に改善された方が多数おられた事などが要因と考えられる。

地域の特色として、一人住まいで家族も遠方であるというケースが多いが、住み慣れた地域・自宅でその人らしい生活が続けられるよう次年度も、医療・介護との連携を深めながら各種サービスを提供し、利用者の意見を尊重し、自立に向けた支援に努め、更に信用・信頼・慕われる事業所を目指す。

### ・年間目標について

#### (1) 自立支援の理念においてケアマネジメントを実施する

利用者や家族の意向を聞き取り、心身の状況を確認しながら自立した生活を送れるような環境を提供した。また、利用者の選択に基づき各種サービスが偏ることなく、効果的に提供されるように配慮した。

#### (2) 信頼関係の構築 情報管理の徹底

利用者はもちろん、家族や近隣住民へも積極的にアプローチし、信頼関係の構築に努めた。介護支援専門員としての信頼関係を築きあげた事で他事業所からの理解も深まった。

#### (3) 介護支援専門員としての資質の向上を図る

昨年に引き続き、週に1回施設内研修や事業所内ケース検討会を実施した。ケース検討会では、他部署からの意見も取り入れ、話し合う事で、多角的な視点での配慮ができるようになった。また、施設外研修へ参加し普及研修を行うことで、介護支援専門員としての資質の向上を図った。

ケアマネジメント以外の業務においては

職員間で分担する事により、事業所としての必要書類について周知する事ができ、事業所全体でのスキルアップができた。

また、職員同士互いをフォローし、報告・連絡・相談を常に行う事で、担当者以外の利用者の把握が可能となり、職員間での信頼関係もより一層深まった。これにより得られたチームワークを次年度においても維持・継続し、より良いケアマネジメント業務が実施出来るよう努めていく。

#### (4) 連携の強化

利用者の入退院により、他事業所や医療関係機関と連携する機会が多くなったことで、連携の重要性を再確認する事ができた。今後も医療を始め各種制度(障害・福祉制度等)との連携強化を行い、より一層の支援に繋げていく。事業所内でも「相談しやすい環境」を心掛けた。

#### (5) 利用者数の確保に努める

新規契約はあるが、入院・入所数が多く昨年よりも登録人数は減少した。

次年度においては出来るだけ個々の利用者の情報共有、常時連携を図る事で 入

院・入所数を防ぎ、利用者数の安定に繋げていく。

・平成30年度 外部研修

開催日	演題 議題 (主催者)	実施内容	出席者
7月7日	平野区在宅医療ケアネットワーク研修会	連携にあたり事例を通してグループワークを実施	河越
7月11日	介護保険事業所連絡会主任ケアマネの会 コンプライアンス道場	ケアマネジメントプロセスの再確認	河本
9月12日	介護保険事業所連絡会主任ケアマネの会 コンプライアンス道場	初回面接で信頼関係を作り出すコツを学ぶ	長原 河越
9月25日	平野区介護保険事業連絡会 第2ブロック	自立支援のケアプラン作成について	松本 長原
10月11日	平野区内地域包括支援センター活動報告	ネットワーク構築における取り組み	松本
11月13日	平野区内地域包括支援センター	高齢者虐待予防について	河本
11月17日	平野区認知症高齢者支援ネットワーク連絡会	パーソンセンタードケアの視点を学ぶ	松本 河越
12月1日	平野区介護保険事業者	学術研究会	長原
1月12日	平野区介護保険事業所連絡会	発達障害のある利用者や過誤区への関わり方について	松本
1月23日	介護保険事業所連絡会主任ケアマネの会 コンプライアンス道場	新規相談が絶えない事業所になる為について学ぶ	河本
2月23日	喜連地域包括支援センター	認知症支援者の交流会	松本 河越
3月14日	平野区介護保険事業所連絡会	社会貢献とソーシャルワークについて学ぶ	松本

・年間売上表

○前年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護	1,620(164)	1,740(165)	1,773(169)	1,740(168)	1,740(168)	1,760(171)
予防	52(12)	38(8)	43(9)	60(12)	51(10)	57(13)
区分変更	(3)	(2)	(3)	(4)	(6)	(2)
合計	1,672(176)	1,778(173)	1,816(178)	1,800(180)	1,791(178)	1,817(184)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	2,800(170)	2,864(169)	2,918(171)	2,783(165)	2,841(166)	2,833(167)
予防	66(14)	62(13)	52(11)	81(15)	84(17)	86(18)
区分変更	(3)	(3)	(3)	(3)	(4)	(3)
合計	2,866(184)	2,926(182)	2,970(182)	2,864(180)	2,925(183)	2,919(185)

○平成30年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護	2,924(165)	2,891(166)	2,937(164)	3,022(166)	2,727(154)	2,728(155)
予防	81(19)	86(20)	67(16)	75(17)	72(17)	72(16)
区分変更	(4)	(4)	(5)	(3)	(5)	(4)
合計	3,006(184)	2,978(186)	3,005(180)	3,098(183)	2,800(171)	2,801(171)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	2,890(158)	2,748(156)	2,805(157)	2,766(153)	2,775(157)	2,681(151)
予防	79(19)	96(21)	104(24)	98(23)	102(24)	88(21)
区分変更	(2)	(2)	(5)	(2)	(2)	(7)
合計	2,970(177)	2,844(177)	2,910(181)	2,864(176)	2,877(181)	2,769(172)

※単位：千円

※（ ）は利用者数

・平成30年度スローガン

- ① 利用者様と家族様の心に寄り添った支援を目指そう。
- ② 地域・福祉・医療の連携を密にし、ケアマネジメントの質の向上を図ろう。
- ③ 仲間同士の信頼関係を築き、力を合わせて全ケースの把握に努めよう。



## ◎ ゆたか訪問介護ステーション

平成30年度においては、前年に引き続き「やっぱりゆたかさん」をモットーに、より、「チームゆたか」を強固にするべく様々な取り組みを行った。

4月の介護保険制度改正に伴い新たに義務化された口腔ケアや服薬状況の把握・報告において、モニタリング書式の変更を実施。書式変更を行う事で、サービス提供責任者だけでなく、登録ヘルパーを含む全職員への意識付けができ、事業所全体で取り組む事ができた。これにより、居宅支援事業所への報告内容が充実し、より質の高いサービス提供へと結びつける事ができたと考える。

また、前年度の実地指導内容により、活動記録票の内容を変更。サービス内容を的確に把握し報酬算定に活かす事ができた。書式変更に際し、ヘルパー会議を実施し全職員が一斉に変更書式に対応できるよう、勉強会を実施。制度改正の内容や介護保険内で出来る事、出来ない事、保険外サービスの考え方など、周知する事ができたとと言える。

年間を通し業務の効率化を図る為、ICT化への変更を検討。様々なシステム会社より資料の取り寄せや説明会を実施する機会を持ち比較検討を続ける中で、現在の業務量の把握、数値化を実施。特に書類整理や実績入力、同法人内での情報共有がスムーズに実施できる為、次年度に向け検討を続けていきたい。

人員に関しては人員確保の為、事業所全体での業務の見直しが必要と判断。常勤会議の時間変更やサービス提供責任者が事務所で待機できる時間を設け、ヘルパーへの連絡調整や、外部との連携が今まで以上にはかりやすくなるよう工夫を続けている。

また、地域毎の利用者数とヘルパー担当区域の地域差が出ている事から、新たな地域割りを実施し対応している。

介護保険事業に関し、要支援者への「生活援助型サービス」が定着し、利用者数は増加している。しかしながら、報酬単価が減少している為、利用者数は増えているが報酬は減額している状況が続いている。要介護者へのサービス提供については、障がい福祉サービス居宅介護等と併用するケースが増えており、柔軟な対応が求められるようになり適宜対応を実施してきた。これにより、自宅での看取りに関わるケースが増え、医療職や他事業所との連携、利用者本人、家族との関わりを深める事ができ、良い経験になったと考える。

障がい福祉サービスについては、法人併設の相談支援事業所と連動し、より連携の図れた質の高いサービスが提供できるよう努めた。前述した通り、介護保険サービスと併用するケースが増えた事や、相談支援事業所の運営が安定した事から、売上に貢献したといえる。前年度より引き続き実施した、障がい福祉サービスの勉強会については6月で終了したが、継続して、新しい制度の把握・理解を深めていけるよう適宜実施していきたい。

このような取り組みを行い、人員確保が困難な中、利用者数は増加の傾向をたどり、収益は前年対比約410万円の増収、約1億6千万を計上する事ができた。

次年度においても、業務改革を中心に利用者・家族に喜んでもらえるケア、職員が働きやすい環境作りに力を入れ、地域により根ざした事業所を目指していく。

・年間売上表

○前年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護	9,441 (126)	9,917 (132)	9,868 (136)	9,571 (134)	9,434 (132)	9,537 (129)
予防	2,027 (99)	1,962 (96)	2,007 (97)	2,135 (104)	2,032 (102)	2,038 (104)
総合支援	1,505 (39)	1,629 (38)	1,530 (33)	1,477 (274)	1,429 (35)	1,481 (35)
保険外	28 (2)	20 (3)	35 (6)	13 (3)	11 (3)	30 (4)
合計	13,002 (266)	13,529 (269)	13,441 (272)	13,197 (274)	12,907 (272)	13,087 (272)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	9,860 (136)	9,801 (135)	9,657 (140)	8,979 (140)	8,460 (138)	9,535 (137)
予防	1,926 (99)	1,873 (96)	1,800 (94)	1,756 (91)	1,747 (89)	1,804 (90)
総合支援	1,478 (34)	1,254 (35)	1,349 (37)	1,440 (38)	1,513 (39)	1,728 (40)
保険外	23 (4)	29 (7)	54 (10)	51 (8)	45 (7)	70 (10)
合計	13,288 (273)	12,959 (273)	12,861 (281)	12,227 (277)	11,767 (273)	13,139 (277)

○平成30年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護	9,326 (135)	9,732 (140)	9,726 (140)	9,793 (140)	9,840 (133)	9,032 (132)
予防	1,868 (94)	1,819 (92)	1,856 (94)	1,889 (95)	1,817 (92)	1,797 (91)
総合支援	1,740 (42)	1,907 (44)	1,943 (46)	2,003 (43)	1,982 (44)	1,890 (44)
保険外	53 (8)	44 (7)	56 (8)	42 (7)	61 (10)	52 (9)
合計	12,988 (279)	13,504 (283)	13,581 (288)	13,728 (285)	13,700 (279)	12,773 (276)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	9,869 (133)	9,584 (131)	9,206 (129)	9,100 (126)	9,108 (126)	9,537 (127)
予防	1,829 (93)	1,881 (95)	1,888 (96)	1,858 (95)	1,434 (90)	1,682 (85)
総合支援	2,106 (34)	2,034 (45)	2,019 (48)	1,873 (45)	1,883 (44)	1,728 (40)
保険外	58 (8)	57 (10)	64 (11)	41 (7)	34 (6)	43 (8)
合計	13,864 (279)	13,556 (281)	13,179 (284)	12,873 (273)	12,761 (266)	12,991 (265)

※ 単位：千円

※ ( ) 内は利用者登録数

・平成30年度研修会

- 4月 訪問介護の接遇～訪問時の心得～ (川崎)
- 6月 訪問ヘルパーだからできる認知症ケア (吉富)
- 8月 在宅での身体介護～オムツ交換・ベッド上での移動 (小野)
- 10月 在宅生活における緊急時の対応について (永井)
- 12月 在宅での感染症対策 (仲村)
- 2月 ネット時代の個人情報保護について (川崎)

・平成30年度スローガン

～「やっぱりゆたかさん!!」をモットーに～

- ① 即断！即決！すぐ対応！起動力を生かしたチームゆたか
- ② 常に持ちます向上心（全員がスキルアップを目指し専門性の高い支援を提供します）
- ③ 常に持ちますまあるい心（感動いっぱい感謝いっぱい気持ちに余裕を持って対応します）
- ④ 常に持ちます福祉の心（互いに尊重しながら利用者の生きる力を引き出します）

## ◎障がい者相談支援センターゆたか

平成30年度においては、前年より引き続き、専任職員1名と兼務職員1名の2名体制、登録利用者は37名にて開始した。利用者との信頼関係を構築し、模索を続けながらの対応となり、前半期に関しては、登録利用者・報酬額とも微増に留まった。

このような状況を打開すべく、基本的な方針として、障害福祉サービスを利用するにあたり必要なサービス等利用計画は、本人の意向を尊重した形でサービス利用ができるよう、ニーズの聞き取りに努め、本人の希望を実現する為の計画作成に努めた。また、サービス利用開始後は、1人ひとりの特質に合ったサービスを提供できているか否かを、定期的に面談を行い、モニタリングを実施した。

特に力を入れた取り組みとして、新規の初回訪問時は必ず職員2人体制で訪問・面談を行い、どちらの職員でも緊急時などの対応ができるように取り組んだ。また、併設するゆたか訪問介護ステーションとは、利用者情報・近況の連絡・相談を常に行う事により、きめ細やかな支援ができたと言える。

年間を通し、事業の傾向としては、65歳を過ぎたが介護保険認定非該当の為、障がい福祉サービスを利用せざるを得ない方が多く、居宅介護支援事業所や区内地域包括支援センターと連携をとる機会が増え、介護保険事業者との関わりを多く持つ事ができた。また、ひとり親世帯により育児支援が必要なケースでは、子育て支援センター、保険センター、学校との連携・情報共有が必要である事から、法人の理念である高齢者も障がい者も、子どもから大人まで支援ができる事業所へと近づけたのではないかと考える。

このような取り組みを行う中で、関係機関からの信頼を得る事ができ、新規ケースの紹介や依頼が増加した。相談支援員2名が経験を積み、様々な利用者との関わりを深めた事で、年間を通し、登録者数17名の増加、53名の利用者獲得につながったと言える。

平成30年4月より報酬単価が改訂。経過措置により、今年度収益に大きな影響はなかったが、次年度においては、新単価が全面適用となるため、基本報酬は全体的に減少する見込みとなる。制度理解を深める事に努め、関係機関との連携作り、利用者との信頼構築に力を入れ対応していく。

・年間売上表

○前年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
本計画	140 (8)	87 (5)	87 (5)	52 (3)	35 (2)	70 (4)
モニタリング	185 (13)	214 (15)	214 (15)	214 (15)	242 (17)	271 (19)
登録者数	(32)	(30)	(30)	(32)	(33)	(34)
合計	326 (21)	301 (20)	301 (20)	266 (18)	277 (19)	341 (23)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本計画	105 (6)	105 (6)	35 (2)	52 (3)	105 (6)	140 (8)
モニタリング	242 (17)	271 (19)	314 (22)	314 (22)	271 (19)	242 (17)
登録者数	(34)	(36)	(35)	(36)	(38)	(38)
合計	348 (23)	376 (25)	349 (24)	366 (25)	376 (25)	383 (25)

○平成30年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
本計画	70 (4)	105 (6)	52 (3)	88 (5)	105 (6)	52 (3)
モニタリング	272 (19)	258 (18)	358 (25)	272 (19)	301 (21)	387 (27)
登録者数	(37)	(39)	(41)	(42)	(43)	(45)
合計	343 (23)	364 (24)	411 (28)	361 (24)	407 (27)	440 (30)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本計画	123 (7)	123 (7)	123 (7)	70 (4)	88 (5)	53 (3)
モニタリング	287 (20)	344 (24)	386 (27)	429 (30)	372 (26)	487 (34)
登録者数	(48)	(49)	(49)	(50)	(51)	(53)
合計	410 (27)	468 (31)	510 (34)	500 (34)	460 (31)	540 (37)

※単位：千円

※（ ）は利用者数

・平成30年度の年間スローガン、研修報告等

平成30年度の年間スローガン、研修報告等に関しては、ゆたか訪問介護ステーションを参照。

## ◎ 平野区喜連地域包括支援センター

当センターが開設し8年目となった。(委託期間は平成32年度までの4年間)

地域に根ざした活動の成果も現れ、地域住民からの相談も右肩上がりで見られている。

周知活動としては、回覧・掲示板の活用、地域行事での出張相談窓口の設置やチラシの配布を行った。高齢者には認知度が上がってきているように思うが、就労世代においてはまだまだ知らない方もおり、早くからセンターを知っていただけるよう周知の工夫をしていきたい。

地域住民や専門職の認知症理解の普及のため、るんるんネット連絡会では専門職向けの研修担当となり、「パーソンセンタードケアについて」の研修会を開催することが出来た。また、るんるん交流会では初めて地域住民対象とし、認知症予防について地域の開業医に講演いただき、満員御礼と好評であった。

こてつかフェ（認知症カフェ）においては、毎月第3日曜日の午前中に開催し、毎回20～30名の方に来ていただいた。ボランティアの協力もあり、スムーズな運営が可能となっている。そして、定期的に催し物を開催するなどして、継続して参加していただけるよう工夫をしている。もちろん認知症の方も参加され、地域住民との交流や運営のお手伝いもしている。

権利擁護の取り組みについては、専門職向けの高齢者虐待研修を他圏域の地域包括支援センターと協力して開催した。研修の積み重ねもあり、介護支援専門員をはじめ専門職から早期に情報提供があるケースが増えている。来年度は地域住民に対しても普及啓発を行い、地域からも早期に情報を得られるよう努める。

成年後見制度については、相談ケースは増えてきているが、家庭裁判所に申立てる時には重度の認知症になっているケースが多い。判断力があるうちから制度の活用ができるよう意識して働きかけを行いたい。

自立支援ケアマネジメントの推進については、研修をとおして全職員が必要性を再認識し、助言できるスキルを身につけられるよう取り組んでいる。また、地域の介護支援専門員に対して、今年度初めて研修会を開催した。今後も継続して開催し、自立支援を意識したプランニングができるよう働きかけを行っていく。

来年度は様々な課題の解決のため、包括単体での活動だけでなく、他機関と意見交換をする機会を多く持ち、更なる協働体制のもとで活動できるよう努めていく。

### ・平成30年度事業実績（包括的支援事業）

○相談件数：	実人員数	830人
	延べ件数	8,542件
○会議件数：	主催・共催	39回
	参加	153回
○地域の行事等参加：		92回

・主な地域活動

地域	活動内容
喜連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい喫茶での周知活動</li> <li>・民生委員協議会での研修会</li> <li>・喜連団地での周知活動</li> <li>・こどももちつき大会への参加</li> </ul>
喜連北	<ul style="list-style-type: none"> <li>・にこにこ教室での講師派遣</li> <li>・食事サービスでの周知活動</li> <li>・防災訓練の参加</li> <li>・もちつき大会への参加</li> </ul>
喜連西	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい喫茶での周知活動</li> <li>・百歳体操への参加</li> <li>・ニコニコ教室での講師派遣</li> <li>・防災訓練の参加</li> <li>・盆踊り大会での相談窓口の設置と周知活動</li> <li>・敬老会への参加</li> <li>・ポレポレ体操教室の開催と出張ポレポレ開催</li> <li>・こてつカフェの開催</li> <li>・高校での認知症サポーター養成講座の開催</li> </ul>
喜連東	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者住宅への個別訪問</li> <li>・敬老会への参加</li> <li>・いきいきサロンへの参加</li> <li>・こどもフェスタでの周知活動</li> <li>・福祉講習会の開催支援</li> <li>・保育園との合同行事への参加</li> <li>・大学での認知症サポーター養成講座の開催</li> </ul>

・年間売上表（指定介護予防支援）

○前年度（一部委託含む）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
収入	1,455 (629)	1,482 (648)	1,410 (613)	1,408 (627)	1,417 (630)	1,398 (640)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収入	1,386 (621)	1,344 (622)	1,397 (622)	1,358 (622)	1,367 (605)	1,364 (612)

○平成30年度（一部委託含む）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
収入	1,374 (609)	1,377 (648)	1,404 (613)	1,352 (627)	1,358 (630)	1,347 (640)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収入	1,316 (621)	1,312 (622)	1,337 (622)	1,312 (622)	1,332 (613)	1,316 (612)

※単位：千円

※（ ）は利用者数

・平成30年度スローガン

～地域ケアシステムの実現に向けて～

- ① 職員一人ひとりが専門職として自覚を持ち、互いに切磋琢磨し業務に励みます。
- ② 柔軟な発想と行動力で、地域から必要とされるセンターを目指します。
- ③ 職員同士、幅広い情報共有とチームワークで、優しい支援、心温まる対応を実践します。



## ◎介護付有料老人ホームゆたか

平成30年度においては、共感的関係の寄り添う介助を実施する事を目標に、入居者と職員が笑いのある空間で過ごせるよう様々な取り組みを行ってきた。

3年目を迎えた施設運営の中で、入居者の高齢化や平均介護度の上昇、ADLの低下など、様々な問題と直面しながら、適宜業務マニュアルの改善、サービス内容の変更、入居者の状況に合わせたケアが提供できるよう、職員が一丸となり検討してきた。日常生活の変化に柔軟に対応し、その時その人に何が必要かを真剣に考え対応してきたと言える。

その中で、どうすれば入居者に楽しんで過ごして頂けるか、職員と入居者が一緒になって過ごせる時間を作るにはどうすれば良いかなどを検討し、毎月の行事や取り組みを行っている。

人員に関しては、年度途中で法人内人事異動による施設長の交代があり、新体制での施設運営となった。正職員やパート職員の退職もあり、新規職員の受け入れを実施しながら都度、対応を重ねている。適宜実施した職員研修の中では、様々な内容を取り上げ職員のスキルアップにつなげる事ができた。

ハード面では常時、設備の安全点検を実施しながら、定期的な専門業者による点検や修理、備品の整備等を行っている。防災・消防訓練を実施する事で、職員・入居者共に、防災等への意識付けができ、いざという時の対応について研鑽している。

このような取り組みを行う中で、特に入居者が激減する事もなく満床に近い状態を維持しながら運営する事ができたといえる。

施設での暮らしにおいては、日常生活がいかに安全で安心した毎日であるか、また日々の生活の中で、入居者個々が自分らしい楽しみを見つける事ができる環境であるか、が大事だと考える。

次年度に向けては、入居者により、充実した毎日を過ごして頂けるよう、外出機会の確保やレクレーションの充実等、満足度の高い安心・安全な暮らしを提供できるよう入居者と職員が協力しあいながら運営していきたい。

・年間売上表

○前年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入居者数	28名	28名	30名	32名	31名	31名
介護保険	5,442	5,782	5,974	6218	6,362	6,196
家賃等	4,478	4,478	4,666	4,831	4,889	4,839
合計	9,920	10,260	10,640	11049	11,251	11,035
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数	31名	31名	31名	29名	32名	30名
介護保険	6,614	5,848	6,289	6,326	5,895	6,487
家賃等	4,915	4,876	4,744	4,677	4,673	5,022
合計	11,529	10,724	11,033	11,003	10,568	11,509

○平成30年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入居者数	30名	31名	30名	31名	30名	30名
介護保険	6,503	6,659	6,611	6,775	6,950	6,360
家賃等	4,934	5,076	5,030	4,952	5,182	4,845
合計	11,437	11,753	11,641	11,728	12,132	11,206
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入居者数	29名	31名	30名	30名	30名	30名
介護保険	6,081	7,797	6,412	6,348	5,626	6,362
家賃等	5,014	5,146	5,100	5,070	4,964	5,026
合計	11,096	11,703	11,513	11,418	10,591	11,389

※単位：千円

※入居者数は短期利用の方も含む

・ボランティア受け入れ

施設内行事に演奏やフラダンスのボランティアを受け入れ  
ポイント事業によるボランティアの受け入れ（週2回程度）

・施設内研修・施設外研修

4月23日	接遇研修
5月28日	身体拘束研修
7月23日	高齢者の脱水症・熱中症について
8月27日	排泄ケア研修 正しいオムツ・パッドの使用方法
10月26日	人権研修 高齢者虐待防止法について
11月26日	感染性胃腸炎と脱水について

・施設内行事・施設外行事

月	日	施設内行事・施設外行事
4	1～5	お花見（桜）
5	3～5	しょうぶ湯
	29～31	外食ツアー INくら寿司
6	17	お楽しみ会 ハーモニカ（ボランティア）
	24	カラオケ大会
	29	八尾グランドホテル（外食・大衆演劇）
7	7	七夕祭り
	15	アイスコーヒーの日
	25	夏を満喫 理事長特製ハンバーグに舌鼓 フラダンス（ボランティア）
8	11・12	かき氷フェスタ
	19	夏祭り
9	20	敬老会 バンド演奏（ボランティア）
10	21	運動会
11	7	消防訓練
	21	遠足 パナソニックミュージアム・木曽路
	25	お楽しみ会 ハーモニカ・腹話術（ボランティア）
12	23	クリスマス会
	20～22	ゆず湯
1	1	お正月 書初め・福笑い
	6・7	初詣（杭全神社）
2	2	節分 ぜんざいの日
3	3	ひな祭り
	25	防災訓練

その他：ゆたリンピック・誕生会を毎月開催

・平成30年度スローガン

- ① 入居様が主役、共感的関係の寄り添う介助で笑いのあるホームをつくります。
- ② すべての人に気持ちのよいあいさつ、声かけ、笑顔を提供します。

## ◎カリーノ保育園

平成30年度においては、90名定員に変更後、最多となる101名（障がい児1名を含む）の在園児数となった。

年々、年齢別園児数のバランスが安定してきていることもあり、好調であった前年度を上回り、より安定した運営をすることができた。

保育面では、旬の味覚を堪能できる体験として、自分達でお弁当を作ったのサプライズ遠足、さんまパーティー、ちゃんこ鍋パーティー等、様々な食育体験を行った。子ども・保護者からはとても好評で、今後も記憶に残る体験を企画し、継続していきたい。

また、社会体験では「自己選択」体験の一環として、バイキングレストランにての昼食会や、スーパーにて自分自身のチョイスによる買い物をする、など様々なイベントを行い、子どもたちが個々で考える機会を持ち、社会性、考察力等を育む良い体験ができた。

英語遊びでは、レッスンの時間をとり英語を学んだ。また、普段より外国人講師が基本保育終了時間（18時）まで保育に関わっており、常に英語に触れることで自然と子ども達の身につけている。降園時に保護者が英語遊びを目にしたり、外国人講師と会話する機会もあり、大変好評である。

また、当園では異年齢児交流を盛んに行い、思いやる心、助け合う心、豊かな心が芽生える環境を作り、互いに良い刺激を受け育ち合うように努めた。

今後もクッキング保育、動植物の飼育や栽培、他園交流、世代間交流、地域交流等々、様々なイベントや活動を通して、カリーノ保育園だからできる実体験を大切にし、生きる力を育てていきたい。

今後の課題として、様々なメディアなどで話題になっている保育士確保が年々困難になってきている。保育実習（高校、短大等）やボランティア等を通じて、早い段階からアプローチを行い、保育士養成校等とより連携を深め、人材確保、人材育成に努めていきたい。

今後も引き続き動向を見据えながら当園児の年齢バランスを考え、乳児型の保育園を安定維持できるように努めていく。

・年間園児数

○前年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
0歳児	10 ( )	10 ( )	11 ( )	11 ( )	11 ( )	11 ( )
1歳児	15 ( )	15 ( )	15 ( )	15 ( )	16 ( )	16 ( )
2歳児	15 ( )	15 ( )	15 ( )	15 ( )	16 (1)	16 (1)
3歳児	19 ( )	19 ( )	19 ( )	19 ( )	20 ( )	20 ( )
4歳児	14 ( )	14 ( )	15 ( )	15 ( )	15 ( )	15 ( )
5歳児	14 (1)	14 (1)	14 (1)	13 (1)	13 (1)	14 (1)
合 計	87 (1)	87 (1)	89 (1)	88 (1)	91 (2)	92 (2)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	11 ( )	11 ( )	11 ( )	11 ( )	11 ( )	11 ( )
1歳児	16 ( )	16 ( )	16 ( )	16 ( )	16 ( )	16 ( )
2歳児	16 (1)	16 (1)	16 (1)	16 (1)	16 (1)	16 (1)
3歳児	20 ( )	20 ( )	20 ( )	20 ( )	20 ( )	20 ( )
4歳児	15 ( )	16 ( )	16 ( )	16 ( )	16 ( )	16 ( )
5歳児	14 (1)	14 (1)	15 (2)	15 (2)	15 (2)	15 (2)
合 計	92 (2)	73 (2)	94 (3)	94 (3)	94 (3)	94 (3)

○平成30年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
0歳児	10 ( )	10 ( )	11 ( )	11 ( )	11 ( )	11 ( )
1歳児	14 ( )	14 ( )	14 ( )	14 ( )	14 ( )	15 ( )
2歳児	17 ( )	17 ( )	17 ( )	17 ( )	17 ( )	17 ( )
3歳児	20 (1)	20 (1)	20 (1)	19 (1)	19 (1)	19 (1)
4歳児	21 ( )	21 ( )	21 ( )	21 ( )	21 ( )	21 ( )
5歳児	17 ( )	17 ( )	17 ( )	17 ( )	18 ( )	18 ( )
合 計	99 (1)	99 (1)	100 (1)	99 (1)	100 (1)	101 (1)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	11 ( )	11 ( )	11 ( )	10 ( )	10 ( )	10 ( )
1歳児	15 ( )	15 ( )	15 ( )	15 ( )	15 ( )	15 ( )
2歳児	17 ( )	17 ( )	17 ( )	16 ( )	16 ( )	16 ( )
3歳児	19 (1)	19 (1)	19 (1)	19 (1)	19 (1)	19 (1)
4歳児	20 ( )	20 ( )	20 ( )	20 ( )	21 ( )	21 ( )
5歳児	18 ( )	18 ( )	18 ( )	18 ( )	18 ( )	18 ( )
合 計	100 (1)	100 (1)	100 (1)	98 (1)	99 (1)	99 (1)

※単位： 名

※ ( ) 内は障がい児

		平成30年度 年間行事			
4月	99人	入園式・春の遠足(5歳児・松原園合同)＜キッズプラザ＞・春の遠足(3・4歳児)＜久宝寺緑地＞		異年齢保育開始	
5月	99人	こいのぼりの集い・内科検診・検尿 サプライズ行事(5歳児)＜サーティーワン&長居公園＞			
6月	100人	運動会・歯科検診・保育参加・お泊り保育(5歳児 松原園合同)＜クリエート月ヶ瀬＞・ 七夕フェスティバル(5歳児)・ブラッシング指導			
7月	99人	職場体験＜瓜破中学校＞サマーコンサート・プール開き・七夕交流会(4・5歳児)・ 保育実習＜城南学園高校＞			
8月	100人	プール終了・職場体験＜松原高校＞ ボランティア＜東住吉総合高校＞・保育実習＜大阪芸術短期大学＞＜四天王寺大学短期大学＞			
9月	101人	敬老会(3・4・5歳児) ホスピタリティ実習授業＜東住吉総合高校＞			
10月	100人	保育参加・消防訓練(消防隊&消防車と触れ合い) ハロウィン・絵本読み聞かせ(チャイルドブック) 秋の遠足(5歳児・松原園合同)＜奈良公園＞			
11月	100人	内科検診・大根ひき(5歳児)・園外保育(2歳児)＜平野西公園＞・職場体験＜摂陽中学校＞ 秋の遠足(4歳児・松原園合同)＜大泉緑地・すすめヴァイキング＞・交通安全教室(平野CAT隊&あんにゃん) 秋の遠足(3歳児・松原園合同)＜天王寺動物園＞・サプライズ行事(5歳児)＜なんばパークス＞			
12月	100人	リズムの発表会・松原園交流会＜トラッキーとあそぼう＞・さんまパーティー(4・5歳児)・ 防犯教室(平野警察)・保育実習＜城南学園高校＞・クリスマスコンサート・クリスマス会・年末年始休園			
1月	98人	保育始め・たこあげ大会(3・4・5歳児)		3歳児お昼寝順次終了	
2月	99人	節分豆まき・手巻き寿司パーティー・ことばの発表会 喜連西小学校交流会(5歳児)・手洗い指導			
3月	99人	ひなまつりの集い・鍋パーティー(松原園合同 5歳児) お別れ遠足(3・4・5歳児 松原園合同)＜須磨海浜水族園＞・お弁当保育(0・1歳児)・ お別れ遠足(2歳児)＜長居公園＞・社会体験＜スーパー万代買い物＞(5歳児) お別れ会・卒園式・茶話会・おもちつき(5歳児)		↓ ↓	

・その他の活動

英語遊び 週2～5回(外国語講師 常時)  
 学習遊び 週2回  
 ヒップホップダンス 月4回  
 おやつ作り 月1回  
 巡回指導 月1回

避難訓練 月1回 担当 高田  
 世代間交流 年3回程度 喜連西デイサービス 担当 松井・田村  
 異年齢児保育 月1回程度 お楽しみ会 担当 西田・仲里・高田・小澤 他  
 保育所体験 月1回程度 おやつ作り 担当 松本 他  
 随時 保育体験 担当 西野

## ◎松原カーリーノ保育園

平成30年度においては、障がい児7人、要保護児童7人を含む134人で保育が始まった。園児数は前年度より5人少ないスタートとなり、特に0歳児は定員数12人に対して7人と最大の不安要因となった。しかしながら、最終的に当年度園児平均数は139人となり、大きな怪我、事故無く過ごせた。

当年度は、保育運営する上で大きな課題でもある「より安心・安全な保育環境を提供すると共に地域交流と職員育成の強化」に努めた。小学校校長・教員との合同園内研修（テーマ…「保小連携の必要性と強化」）や月1回の交流は、両者の課題が互いに共有でき、保育士の意識の改善、質の向上、小学校への滑らかな移行に繋がり成果がでた。加えて近隣保育所、高齢者施設との交流に関する事前会議や教育委員、小学校校長との三者会議に保育士が参加をしたことは、他施設職員の前で議題にそって意見を述べるという経験となり、保育士として大きな成長に繋がったと実感している。

保育面では、「食育」に関しては、野菜栽培は勿論、四季折々の食材を使った昼食作り、お弁当作り、おやつ作りを行った。これらの活動は単に作って食べるだけではなく、材料の買い出しからはじまり、調理器具の扱い方、調理の仕方、食事マナーの習得まで皆と共に学んだ。これにより、子どもたちは自然に意欲や社会性が培われ「子ども達自身の学び」と「生きる力」に繋がったと感じている。また、サプライズ遠足や月ヶ瀬のお泊り保育は、子ども達の心に強く印象に残ったようで「また行きたい」という声が大きかった。実体験を通しての保育、先を見通しての計画性のある保育、継続性のある保育は、やがて「知・徳・体」のバランスのとれた「生きる力に」となり、いかに大切であるという事が職員に浸透しつつあると確信している。

平成31年度は松原市の人口がさらに減少する中、137人でのスタートとなる。より丁寧で個々の成長を受け止める保育、子どもの主体性が重視される保育、特色ある保育を柱にし、保護者支援の必要性を全職員が共通理解した上で実現することが今後に繋がり繋げる保育と信念し進めて行きたい。

また更に保育の質の向上を追求し、職員の自己研鑽に対する援助や助言を細やかにしてサービスの向上と安心・安全の確保を図り、子ども・保護者・地域の住民に寄り添い信頼され愛される施設になれるよう努めたい。

10月より始まる3歳児から5歳児の利用料無償化については、食材費等は実費となるので、価格設定は情報収集し他園とのバランスも考慮した上で確定していきたい。

・年間園児数

○前年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
0歳児	13 ( )	13 ( )	13 ( )	13 ( )	14 ( )	15 ( )
1歳児	24 ( )	24 ( )	24 ( )	24 ( )	24 ( )	24 ( )
2歳児	25 (1)	25 (1)	25 (1)	25 (1)	25 (1)	25 (1)
3歳児	25 (1)	25 (1)	25 (1)	25 (1)	25 (1)	25 (1)
4歳児	27 (1)	27 (1)	27 (1)	27 (1)	27 (1)	27 (1)
5歳児	25 (3)	25 (3)	25 (3)	26 (3)	26 (3)	26 (3)
合計	139 (6)	139 (6)	139 (6)	140 (6)	141 (6)	142 (6)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	15 ( )	15 ( )	15 ( )	15 ( )	16 ( )	17 ( )
1歳児	24 ( )	24 ( )	24 ( )	24 ( )	24 ( )	24 ( )
2歳児	25 (1)	25 (1)	25 (1)	25 (1)	25 (1)	25 (1)
3歳児	25 (1)	24 (1)	24 (1)	24 (1)	24 (1)	24 (1)
4歳児	27 (1)	27 (1)	27 (1)	27 (1)	27 (1)	27 (1)
5歳児	26 (3)	26 (3)	26 (3)	26 (3)	26 (3)	26 (3)
合計	142 (6)	141 (6)	141 (6)	141 (6)	142 (6)	143 (6)

○平成30年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
0歳児	7 ( )	9 ( )	9 ( )	10 ( )	11 ( )	13 ( )
1歳児	25 ( )	24 ( )	24 ( )	25 ( )	25 ( )	24 ( )
2歳児	25 ( )	25 ( )	25 ( )	25 ( )	25 ( )	25 ( )
3歳児	25 (1)	26 (1)	26 (1)	26 (1)	26 (1)	26 (1)
4歳児	25 (2)	25 (2)	25 (2)	25 (2)	25 (2)	25 (2)
5歳児	27 (3)	27 (3)	27 (3)	27 (4)	27 (4)	27 (3)
合計	134 (6)	136 (6)	136 (6)	138 (7)	139 (7)	140 (7)
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	13 ( )	14 ( )	14 ( )	14 ( )	14 ( )	14 ( )
1歳児	24 ( )	23 ( )	23 ( )	23 ( )	23 ( )	24 ( )
2歳児	25 ( )	25 ( )	25 ( )	25 ( )	25 ( )	25 ( )
3歳児	26 (1)	26 (1)	26 (1)	26 (1)	27 (1)	27 (1)
4歳児	25 (2)	25 (2)	25 (2)	25 (2)	25 (2)	26 (2)
5歳児	27 (3)	27 (3)	28 (3)	28 (3)	28 (3)	28 (3)
合計	140 (7)	140 (7)	141 (7)	141 (7)	142 (7)	144 (7)

※単位： 名

※( )内は障がい児



# 平成30年度 行事報告書

月	園児数	行事			
4月	134	入園式・進級式・各学年クラス会 ・春の園外保育(3歳児)＜新町南公園＞ (4・5歳児)＜大泉緑地＞ ・子どもの日の集い	お菓子作り(4・5歳児)		
5月	136	・社会見学(5歳児)＜キッズプラザ＞ ・各学年個人懇談(希望制)・蟻虫検査・検尿 ・保育参加 ・じゃがいも堀 ・カレーパーティー(4・5歳児)・手洗い指導・ブラッシング指導 ・交通安全指導(松原警察署来園) ・避難訓練(松原消防署来園) ・松原第三中学校 職業体験(4名 2日間)	お誕生日会(全クラス) 異年齢保育開始(3・4・5歳児)		
6月	136	・歯科検診・内科検診 ・中央小学校5年生 職場体験(8名) ・夏遠足&お泊り保育(4・5歳児本園合同) ・田植え(5歳)・お祭りごっこ			
7月	138	・七夕の集い・七夕コンサート ・プール開き			
8月	139	・プール遊び ・園内研修(講師:中央小学校校長) ・保育実習(常磐大学 1名) ・保育実習(大阪芸実短期大学 1名)			
9月	140	・保育実習(常磐短期大学 3名) ・保育実習(四天王寺短期大学 1名) ・運動会総合練習 ・松原第三中学運動会(5歳児)			
10月	140	・運動会・各学年クラス会 ・松原中学校 職業体験(2人 2日間) ・稲刈り(5歳児) ・サンマパーティー	5歳児 屋寝終了		
11月	140	・保育実習(常磐短期大学 3名) ・松原第二中学校 職場体験(4名 2日間) ・園外保育(4歳児本園合同)＜大泉緑地・バイキング＞ ・園外保育(2歳児)＜大池公園＞ ・大根・人参引き(5歳児 本園合同) ・子ども文化フェスティバル(5歳児 他園合同) ・ヒューマンタウンフェスティバル(5歳児)・獅子舞 ・中央小学校交流会(5歳児)・サプライズ遠足(5歳児) ・歯磨き指導(歯科衛生士来園)・手洗い指導・内科検診 ・園外保育(5歳児本園合同)＜電車 奈良公園＞(3歳児)＜天王寺動物園＞			
12月	141	・保育参加・ブラッシング指導 ・防犯教室(松原警察署来園) ・避難訓練(松原消防署来園) ・観劇「一芸ボランティア ジャビジャビ」 ・中央小学校秋祭り(5歳児) ・カレーパーティー(3・4・5歳児) ・サンタクロース来園・年末年始休園			
1月	141	・保育初め ・保育実習(四天王寺短期大学 1名) ・中央小学校交流(5歳児/5年生・給食)			
2月	142	・節分豆まき・凧揚げ大会(幼児)・個人懇談(希望制) ・生活発表会総合練習・生活発表会・各学年クラス会			
3月	142	・ひなまつり交流(5歳児/地域高齢者) ・保育実習(大阪芸術短期大学 1名) ・コマ回し大会・お別れコンサート ・社会体験(5歳児・おやつ購入) ・お別れ遠足(4歳児・5歳児本園合同)＜須磨水族館＞ ・お別れ遠足(3歳児)＜久宝寺緑地＞お別れ遠足(2歳児)＜大池公園＞ ・お別れミニ運動会(全園児)＜園周辺・園庭＞ お別れ会 ・中央小学校交流(5歳児/1年生・授業) ・中央小学校交流(お昼休み体験) ・卒園式&茶話会(お餅つき)・お弁当保育(1才)			

## ◎社会福祉充実計画についての報告

平成30年度において、1か年目の事業計画として、職員給与充実事業10,000千円・職員育成事業3,000千円を見込み社会福祉の充実にあたった。

実績については、職員給与充実事業20,191,587円、職員育成事業856,278円となった。職員給与充実事業（職員の給与等増額）については、各事業所とも役職の細分化及び新たに設置を行うなどし、職員の能力に先行投資的なものがあったことは否めない。また、職員育成事業（職員の資質向上を図る為、研修受講費用を補助）においては、一度に多人数を受講する事や役職取得等を担う研修が、市場にて頻繁に行われなかった事などにより当結果となった。

事業分析により、当該計画は今後2～3年の実績を鑑みての結果から、計画の変更等を考慮しなければならないか見極めていく必要があると思われる。

社会福祉充実計画 投資実績管理表

計画対象期間：H30.7.1～R05.3.31

当初充実計画

	H30.3月末	H31.3月末	R02.3月末	R03.3月末	R04.3月末	R05.3月末	合計
社会福祉充実残額	110,130,000	97,130,000	84,130,000	71,130,000	58,130,000	0	
計画①							
職員給与充実事業		10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	50,000,000
計画②							
職員育成事業		3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	15,000,000
計画③							
保育所の用地購入事業						45,130,000	45,130,000
投資額計		13,000,000	13,000,000	13,000,000	13,000,000	58,130,000	110,130,000

実際投資額（電子開示システム入力額）

計画①							
人件費支出合計	539,285,162	559,476,749					
差額（投資額）		20,191,587	-539,285,162	-539,285,162	-539,285,162	-539,285,162	
差額（投資額累計）		20,191,587	-519,093,575	-1,058,378,737	-1,597,663,899	-2,136,949,061	
計画②							
研修研究費支出	480,978	856,278					
差額（投資額）		375,300	-480,978	-480,978	-480,978	-480,978	
差額（投資額累計）		375,300	-105,678	-586,656	-1,067,634	-1,548,612	
計画①+②合計（システム入力額）		20,566,887	-519,199,253	-1,058,965,393	-1,598,731,533	-2,138,497,673	
実際残額		89,563,113	629,329,253	1,169,095,393	1,708,861,533	2,248,627,673	